

# **GA ラグビーフットボールフェスティバル 2022**

## **GA 交流戦**

### **U-16 GLOBAL ARENA ROOKIES CUP 2022**

**(全国高校 GA 選抜 U-16 ラグビー交流大会)**

## **新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン**

株式会社グローバルアリーナ

# 新型コロナウイルス感染拡大防止について

## 【入場(本部・グラウンド・応援席)を認める者】

- ベンチ入りできるチーム関係者の人数は、提出した「①チーム事前健康チェックシート」に記載された登録選手、監督、部長、コーチ、トレーナー等、マネージャーのみとする。保護者のベンチへの入場は認めない。

【提出物:①GAラグビーフットボールフェスティバル2022 チーム事前健康チェックシート(グローバルアリーナ到着時に提出)】

- 九州・各県ラグビーフットボール協会、大会事務局、審判員などの役員及び補助員、来賓など。

【提出物:②大会関係者等 個人健康チェックシート】※本部入り口にて受付、入退場

- 大会事務局から許可された者(医師・看護師・報道関係者等)。

【提出物:②大会関係者等 個人健康チェックシート】※本部入り口にて受付、入退場

- 保護者、応援者については、指定の応援席にて入場を認める。(選手と交流は不可)  
感染状況においては無観客および制限を設けることもありえる。

- 大学関係者は本部から指定された場所での観戦とする※本部入り口にて受付、入退場

## 【全般的な注意事項】

- 全ての関係者が会場に入場する際の必須条件として、アルコール消毒、マスク着用を行うこと。

※体調不良者は入場を認めない。

- 大会に参加する各チームは試合当日、上記①の健康チェックシートを代表者が提出すること。

- 審判員などの大会役員、来賓、医療関係者、報道関係者は本部にて「②個人健康チェックシート」記載のうえ提出する。

- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、提出された書面については大会事務局において少なくとも1か月間保存しておく。また、大会事務局は関係者全員の連絡先を管理する。

- チーム関係者の登録選手ならびに監督、部長、コーチ、トレーナー等、マネージャー、登録外部員(ウォーター係)は、10日前から試合当日までの症状の有無について「チーム関係者 健康チェックシート」に記録しておき、参加時に提出する。

## 【大会参加者への事前対応】

- 感染拡大防止のために、以下の事項を遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から、大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。各チームにて参加者への周知徹底をお願いします。

(1) 現在、以下に記載の項目を含め、新型コロナウイルス感染症の兆候が一切見られないこと。

①新型コロナウイルス感染症に関係するいかなる症状も直前の10日以内に見られないこと。

ア 平熱を超える発熱

イ 咳、のどの痛みなど風邪の症状

ウ だるさ(倦怠感)・息苦しさ(呼吸困難)

エ 嗅覚や味覚の異常

オ 体が重く感じる・疲れやすい等

②生活を共にする家族等にも新型コロナウイルス感染症に関するいかなる症状も直前の10日以内に見られないこと。

③新型コロナウイルス感染者や感染が疑われる人に直前の10日間に接触していないこと。

④過去10日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触していないこと。

(2) マスクを持参し、競技中、アップ時以外は着用すること(ベンチ、控室での着替えや会話をする際はマスクを着用する)

(3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

(4) 他の参加者、大会関係者等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。

(5) 大会中に大きな声で会話、応援等しないこと。

(6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

(7) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム責任者を通して主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(8) 更衣場所の滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける。

(9) 移動についての注意事項。

○公共交通機関での移動を避けられるチームは、可能な場合は個人による移動を検討する。

○できるだけ車の相乗りは避けるようにする。

○公共交通機関(航空機含む)で移動する場合、各個人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する。

# 新型コロナウイルス感染拡大防止について

○チャーターバスを利用する場合は、運行会社と協力し、事前・事後に徹底的にバスを清掃・消毒するように手配し、余裕を持った座席数の確保や換気の徹底等の予防策を講じること。

(10) 試合終了後、各チームは速やかに宿舎へ帰ること。

## 【大会参加申し込みについて】

- (1) チーム責任者は必ず、選手及び保護者から大会参加の同意書を取り、参加申し込みを行う。同意書は各チームで保管すること。
- (2) 大会参加を強要しないよう配慮すること。
- (3) 代表者は参加者全員の連絡先を保有していること。

## 【感染もしくは感染の疑いがある場合の対応】

### I チーム、大会関係者に感染もしくは感染の疑いが判明した場合

- 1 感染が判明または、感染が疑われる選手・関係者が発生した場合、直ちに大会実行委員会へ連絡する。
- 2 陽性となった者は、医師の許可が下りるまで(隔離期間が終えるまで)、大会に参加できない。
- 3 陽性疑いとなった者は医師の診断が下り、陰性が確認されない限り、大会に参加できない。
- 4 濃厚接触者となった者は、陽性者との最終接触日を0日目として**5日間**の隔離期間中は大会に参加できない。ただし、**2日目、3日目**に抗原定性検査を行い陰性判定が出ればチームに合流し、活動することができる。
- 5 濃厚接触疑いとなった者は、下記の、「II 大会出場可否の判断について」に従い大会出場可否を決定する。

### II 大会出場可否の判断について

#### 1 陽性者及び濃厚接触者について保健所または医師の判断がなされている場合

- (1) 陽性者(疑い含む)の隔離期間が大会期間と重なっていても、他の選手に濃厚接触もしくはその疑いがないとの判断が保健所もしくは医師の診断によって明確に示されていれば、その陽性者を除くチーム編成で大会参加は可能である。
- (2) チーム内に濃厚接触者、もしくはその疑いのある選手がいる場合において、その隔離期間が大会期間と重なっていても、濃厚接触者ではないと保健所もしくは医師の診断によって明確に示されている選手でチーム編成ができていれば、大会参加は可能である。

#### 2 陽性者(疑いを含む)及び濃厚接触者(疑いを含む)について保健所または医師の判断が間に合わない、もしくはなされない場合

##### (1) 陽性疑いの判断基準

以下のいずれかに該当する者は大会運営上、陽性疑いとする

- ① 37.5℃以上の発熱、またはのどの痛み、咳などの症状が顕著である者
  - ② 大会前10日間以内に発熱等の症状があったにもかかわらず、医療機関を受診していない者
- ※これらの者は、その後の対応のために、その場で抗原定性キットにて簡易検査を実施する。  
・簡易検査の結果が陰性判定であっても、陽性疑いとして経過観察を行う。

対応は、上記 I 3 及び II 1(1)のとおり。

・陽性であった場合は、他の選手の濃厚接触(疑い含む)の調査を行う。

##### (2) 濃厚接触の判定基準

以下のいずれかに該当する者は濃厚接触者とする

- ① 陽性者(陽性疑い含む)の発症 48 時間前以降に、マスクの着用なく、1m以内で15分以上接触した者
  - ② 陽性者(陽性疑い含む)の発症 48 時間前以降に、同室であった者
- ※これらの者は、その後の対応のために、その場で抗原定性キットにて簡易検査を実施する。  
・簡易検査の結果が陰性判定であった場合、事務局は参加チームと協議して決定する。

大会参加前であれば、最終接触日を0日目として**5日間**の隔離期間を要する。

ただし、**2日目、3日目**に抗原定性検査を行い陰性判定が出ればチームに合流し、活動することができる。

対応は、上記 I 4 及び 上記 II 1(2)のとおり。

・陽性であった場合は、他の選手の濃厚接触(疑い含む)の判定を行う。

## (3) 濃厚接触疑いの判定基準

以下のいずれか一つに該当する者は濃厚接触疑いとする

- ①陽性者(陽性疑い含む)の発症 48 時間前以降に一緒に練習・試合をした自チームの選手
- ②陽性者(陽性疑い含む)が複数出たチームの全選手

※これらの者は、その後の対応のために、その場で抗原定性キットにて簡易検査を実施する。

- ・簡易検査の結果が陰性判定であれば、原則として濃厚接触者疑いを解除し、チームへの合流及び活動を可とする。チームの大会参加の可否は、上記Ⅱ1(2)のとおり。
- ・陽性であった場合は、他の選手の濃厚接触(疑い含む)の判定を行う。
- ・試合のみでの接触については、対戦相手を濃厚接触疑いとはしないが、注意深く健康観察を行う必要がある。

## 3 出場可否の最終判断

(1)感染が判明した選手・関係者または、感染が疑われる選手・関係者が発生した場合は、直ちに実行委員会に報告を行い、上記の参加条件に適合するか否かの確認を行う。

(2)最終的な試合参加の可否については、各チームと協議し、関係各所の助言・見解を得て、大会本部(実行委員会)が判断する。

## Ⅲ 試合前に発熱があった場合の対応

### 1 開催地入り後、試合前日までに37.5度以上の発熱や咳、のどの痛みなど風邪の症状があり、医師の診断が間に合わない場合

大会運営上、当該選手を陽性疑いとみなす

※これらの者は、その後の対応のために、その場で抗原検査キットにて簡易検査を実施する。

- ・簡易検査の結果が陰性判定であっても、当該選手は陽性疑いとして扱い、参加不可とする。他の選手の濃厚接触の追跡は行わないが、最終的な試合参加の可否については各チームと協議し、関係各所の助言・見解を得て、大会本部(実行委員会)が判断する。
- ・陽性判定であった場合は、他の部員に対してⅡ2(2)(3)の対応を行う。

### 2 試合当日の朝に37.5度以上の発熱や咳、のどの痛みなど風邪の症状があった場合

大会運営上、当該選手を陽性疑いとみなす

※これらの者は、その後の対応のために、その場で抗原定性キットにて簡易検査を実施する。

- ・簡易検査の結果が陰性判定であっても、当該選手を陽性疑いとして扱い、参加不可とする。他の選手の濃厚接触の追跡は行わないが、最終的な試合参加の可否については、各チームと協議し、関係各所の助言・見解を得て、大会本部(実行委員会)が判断する。
- ・陽性判定であった場合は、時間の許す限り、他の部員に対してⅡ2(2)(3)の対応を行う。

### 3 試合当日、受付での検温にて37.5度以上の発熱が認められた場合

チームの感染症対策責任者立ち合いのもと大会本部にてあらかじめ腋窩測定をおこない、37.5度を超えた場合は、大会運営上、当該選手を陽性疑いとみなす。

※これらの者は、その後の対応のために、その場で抗原定性キットにて簡易検査を実施する。

- ・簡易検査の結果が陰性判定であっても、当該選手を陽性疑いとして扱い、参加不可とする。他の選手の濃厚接触の追跡は行わないが、最終的な試合参加の可否については、各チームと協議し、関係各所の助言・見解を得て、大会本部(実行委員会)が判断する。
- ・陽性判定であった場合は、時間の許す限り、他の部員に対してⅡ2(2)(3)の対応を行う。

※すべての項目において、自治体の保健所からの判断が出た場合は、その判断を最優先する。

※大会終了後、3日間は特に健康観察を慎重に行い、感染が疑われる症状が出た段階で、大会本部に一報

# 新型コロナウイルス感染拡大防止について

を入れる。

## 【大会中止の要件】

- 緊急事態宣言が発令され、中止要請が関係諸機関から指示された場合。
- 競技場の使用制限等、関係諸機関の指示により試合実施が不可能となった場合。
- 大会運営上に支障をきたす場合。

※大会中止については上記の要件を踏まえて、感染状況により主催者と大会事務局で協議をして判断する。

## 【大会当日の留意事項】

- 試合当日は、「①チーム関係者 健康チェックシート」(提出用)を代表者が入場時に提出すること。提出がない場合は、会場への入場、大会参加は認められない。
- 常にフィジカルディスタンス(できるだけ2m)を保つこと。
- 会場内は必ずマスクを着用し、大きな声での会話や応援等をしない。
- ベンチで待機するリザーブ選手・チームスタッフ及びピッチサイドで待機するチームメディカルスタッフはフィジカルディスタンスを確保出来ない場合、マスクを着用する。但し、ウォームアップ時や交替直後の選手など、健康状態の維持に支障が出る場合を除く。
- メディカルスタッフの服装、装備について  
試合に立ち会うドクター、担架要員、メディカルスタッフ、給水係りは濃厚接触者となることを避けるため、マスク、防水性手袋の着用装着を義務づけるものといたします。  
また、担架使用で体位変換を行う場合や医務室での治療時はガウン、ゴーグル(又はフェイスシールド)の着用を推奨いたします。
- 本部やベンチ、チームテント等にアルコール消毒液を設置するのでこまめな手指消毒を心掛ける。
- 毎試合終了毎に、使用したボールを消毒する。
- 各チームは消毒液等を持参する。なお、各選手席(ベンチ)や更衣場所は、使用したチームが消毒する。
- ウォーターボトル・タオル・ヘッドキャップ等の個人の備品は必ず区別し、栄養補給サプリメント等も含め共用・使いまわしをしない。タオルやアイシング用の氷も共用はしない。
- フィジカルディスタンスを確保できない円陣等は避ける。
- 更衣場所は、密にならない様に入れ替わりながら使用する。更衣場所でのミーティングをひかえる。

## 会場での感染防止のために遵守すること

### 【チーム関係者用・チーム応援者・応援部員】

※チーム関係者用・チーム応援者・応援部員は、感染症対策について以下の項目を遵守してください。

#### (1) 来場前の健康チェック

- 発熱の有無(発熱とは37度5分以上の熱)
- 咳や喉の痛みなどの風邪の症状の有無
- だるさ、倦怠感、息苦しさ(呼吸困難)の有無
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等の有無
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいるかの有無
- 過去10日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触かの有無

※来場時に指定の新型コロナウイルス感染症の「①チーム関係者 健康チェックシート」(提出用)を必ず提出すること。  
(宿泊が選手と同じ場合のみ)

#### (2) 会場で感染防止のために遵守すること

- ① 来場中に注意すること

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

---

- マスクを持参し、ウォーミングアップ中、競技中以外はマスクを着用すること
- こまめな手洗い、うがい、アルコールによる手指消毒を実施すること
- 他の参加者、スタッフ等との距離を確保すること
- 更衣場所の使用は原則更衣のみとし、長時間使用することがないようにすること
- 会場で大きな会話、応援等をしない
- ゴミは各自で持ち帰ること

### ②試合中に注意すること

- ベンチでは距離をとり座ること
- 応援場所については、会場責任者の指示に従うこと
- 応援の際はマスクを着用し、周囲と適切な距離を空けて応援を行うこと
- ベンチ、応援席からの大きな声での指示や応援は慎むこと
- 水筒や飲料用ボトル、ボール拭きなどのタオルの共有は行わないこと

### ③試合終了後に注意すること

- ベンチは使用したチームが消毒を行うこと
- 更衣後、使用した更衣場所は、消毒を行い速やかに退場すること
- 更衣場所での食事は行わない

※大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム責任者を通して主催者に対して速やかに報告すること。

### (3)その他

- 試合前後のミーティングにおいても3密を避ける
- 更衣場所の滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける
- 移動についての注意事項。
  - 公共交通機関での移動を避けられるチームは、できるだけ車の相乗りを避けた個人による移動を検討する
  - 公共交通機関で移動する場合、各個人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する
  - チャーターバス等で同乗車両を利用する場合は、可能な限り席の間隔をあけて座り、車内の換気に留意する

## 会場での感染防止のために遵守すること

### 【大会役員、補助員、来賓、医療関係者、報道関係者等会場への入場が認められた人用】

※会場への入場が認められた人は、感染症対策について以下の項目を遵守してください。

#### (1)来場前の健康チェック

以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（当日に確認を行う）

- 発熱の有無（発熱とは37度5分以上の熱）
- 咳や喉の痛みなどの風邪の症状の有無
- だるさ、倦怠感、息苦しさ（呼吸困難）の有無
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等の有無
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいるかの有無
- 過去10日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触かの有無

※来場時に指定の新型コロナウイルス感染症の「個人健康チェックシート」（提出用）を必ず提出すること。

#### (2)会場で感染防止のために遵守すること

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

---

### ①来場中に注意すること

- 検温を受けてから手指のアルコール消毒を行い入場すること
- 会場ではマスクを着用すること
- こまめな手洗い、うがい、アルコールによる手指消毒を実施すること
- 選手、チームスタッフ、運営スタッフ等との距離を確保すること
- 自身のタオル、ドリンク等を他者と区別できるようにしておく。
- 無線機の共有はしない。やむを得ず使用する場合は十分な消毒をする

※大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。

### (3)その他

- 滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける。
- 移動についての注意事項。
  - 公共交通機関での移動を避け、個人による移動を検討する。
  - できるだけ車の相乗りは避けるようにする。
  - 公共交通機関で移動する場合、各個々人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する。
  - 同乗車両を利用する場合は、可能な限り席の間隔をあけて座り、車内の換気に留意する